

第8回ACAP消費者志向活動表彰「消費者志向活動章」 ～本業を通して社会課題の解決を目指す5つの活動に授与～

公益社団法人消費者関連専門家会議(通称・ACAP)は、第8回「消費者志向活動章」を5つの活動に対して授与することを決定し、2月7日開催の「2023消費者志向経営トップセミナー(ACAP、消費者庁、日本経済団体連合会共催)」において発表、表彰式を執り行いました。

ACAPは、消費者志向経営の推進支援を目的とする「ACAP消費者志向活動表彰制度」を2015年に創設し、毎年、企業・団体等が行う活動で、消費者志向経営を推進または支援する観点から称賛に値するものに、「消費者志向活動章」を授与しております。

今後も、消費者志向経営推進の一助となることを目指し、本表彰事業に取り組んでまいります。

1. 消費者志向活動章 活動内容・受章者

(五十音順)

活動名 (企業団体名)	女性の健康に関するヘルスリテラシー向上への取り組み (大塚製薬株式会社)
【活動内容】	「女性の健康推進プロジェクト」において、2015年より生活者の健康リテラシー向上のため、医療関係者、自治体、NPO法人、企業と広く連携し、様々な啓発活動を展開。地域住民の健康サポートを目指す薬剤師養成プログラムでは「女性の健康支援」をテーマに設定し、2017年から延べ5万人が参加。女性の健康に関する出張セミナーを企業などで実施したり、ウェブサイトでの情報発信にも力を入れている。情報提供サイト「更年期ラボ」は多い日で1日約10万人が閲覧。また、お客さま対応における専任チームを結成、AIによるサポート、お客さまの声を社内で共有する仕組みを整え、社内でプロジェクトを支えている。
【評価ポイント】	長年にわたり、ヘルスリテラシーや女性の健康に関する啓発活動に地道に取り組んでいる。活動の対象を女性に限定せず、社会課題ととらえ男性も対象にした出張セミナーを実施したり、若い世代への啓発活動にも力を入れるなど、今後の展開も期待される。
活動名 (企業団体名)	皮膚の様々な悩みを持つ人々のQOLを高める肌着の開発 (ゲンゼ株式会社)
【活動内容】	乳がんや腹部手術後の傷の痛みを抱える方、皮膚裂傷に悩む高齢者など、肌が敏感になっている人のセルフケアをサポートする低刺激性の肌着を研究開発。医療・介護の現場の声をもとに、「物理的な刺激を低減」、「化学的な刺激を軽減」、「着用感を含む快適性」を叶える素材や加工方法を採用し製品化。これまで一般消費者が入手しにくかった医療用肌着を通信販売でも展開。敏感肌や乾燥肌など広く一般消費者の悩みの解決にもつながり、消費者のQOL向上を目指す。他企業との連携セミナーも開催し、消費者への情報提供や啓発活動も行っている。(QOL: Quality of Life)
【評価ポイント】	本業を通じた社会課題の解決への取り組みで、医療・介護の現場の声に耳を傾けて研究開発を行い、肌に悩みを抱える消費者のQOL向上に努めている。一般消費者の悩みの解決にもつながる事業としての展開は、多くの企業にとって参考になるものである。

活動名 (企業団体名)	食を通じた社会貢献活動 (株式会社トリドールホールディングス)
<p>【活動内容】</p> <p>食の感動体験を提供する企業として、事業を通して地域創生・地域活性化など社会課題解決に取り組む。各地の医療機関や特別養護老人ホーム、子ども食堂へのキッチンカー派遣、うどんと天ぷらの無償提供(2022年5月現在80回、14,380食)やフードパントリー活動(同6,274品)。丸亀市、渋谷区などの自治体と協定を結び、離島振興や災害時のキッチンカー派遣や緊急物資配送に協力。食育事業の「手作りうどん教室」は2012年～2021年3月末現在40,508名参加。地域の従業員が積極的に活動に参加できるよう、有給のボランティア休暇制度を導入し、社内SNSで活動を紹介している。</p>	
<p>【評価ポイント】</p> <p>本業を発展させた活動で、連携先も医療機関、老人ホーム、子ども食堂、自治体と幅広い。活動を持続可能なものとするため、従業員が活動に参画し、誇りが持てるような工夫も素晴らしい。将来、業界を巻き込んで取り組まれることを期待したい。</p>	
活動名 (企業団体名)	大切な人に、感謝の気持ちをお届けする「エピローグ・レター」 (明治安田生命保険相互会社)
<p>【活動内容】</p> <p>生命保険のご契約者からお預かりした手書きのメッセージを、死亡保険金お支払い後に受取人様にお届けするサービス。お金に換算できる貨幣的価値・経済的価値だけでなく、ご家族への気持ちや生命保険に託した想いをつなげるという感情的な価値も提供する。2020年6月にサービスを開始、「エピローグ・レター」への登録は168,393件、メッセージのお届けは875件、感謝の声は2,646件寄せられている。本サービスの紹介動画を作成し、感謝の声をとりまとめた「感謝の声読本」で本サービスの事例を紹介するなど、社内外へのサービスの周知と案内活動の促進を図っている。(各実績は、2022年6月末現在)</p>	
<p>【評価ポイント】</p> <p>生命保険契約者の生命保険に託した想いを、手書きのメッセージでお預かりし、お届けするという発想に深い共感を覚える。消費者の気持ちに寄り添い、経済的価値を越えたサービスを創造している。今後の取り組みの発展を期待したい。</p>	
活動名 (企業団体名)	紙おむつ再資源化に向けた取り組み (ユニ・チャーム株式会社)
<p>【活動内容】</p> <p>使用済の紙おむつを一旦資源化し、また同じ紙おむつに再生する循環型リサイクルシステムの確立を目指す。鹿児島県志布志市、曾於郡大崎町の協力で分別回収と運搬などの実証実験を行う一方で、衛生面、安全性において紙おむつに使用できるパルプのリサイクル技術を確立した。2022年5月に、使用済みおむつから取り出したリサイクルパルプを原料の一部に使った大人用紙おむつの実用を、鹿児島県内の施設で開始。分別回収と運搬について、東京都東大和市、町田市、小田急電鉄株式会社等と連携協力し、実証実験を拡大している。2030年までに10以上の地域でのリサイクル設備の導入を目指す。</p>	
<p>【評価ポイント】</p> <p>将来的に重要な社会課題を解決する取り組みである。新しい技術の開発、システムの実用化に向けて、一つずつ課題を解決しながら自治体や他企業とも連携し、リサイクルシステムの確立を目指しており、取り組みは途上であるが称賛に値する。今後の展開に期待したい。</p>	

2. 募集・選考の概要

(1) 募集期間 2022年6月27日～9月30日

(2) 表彰の対象 企業・団体、または個人

(3) 対象となる活動

- ・消費者の自立を支援する活動
- ・健全で安全・安心な消費生活の実現に向けた活動
- ・消費者と企業等の信頼関係向上に向けた活動
- ・消費者市民社会の形成に貢献する活動
- ・消費者も参画した持続可能な社会に貢献する活動

(対象となる活動期間は、表彰を行う事業年度の4月1日を基準とし、過去5年以内のもの)

(4) 選考委員

選考委員長 山田 昭典氏 独立行政法人国民生活センター 理事長
選考委員 細川 幸一氏 日本女子大学 家政学部教授
浦郷 由季氏 一般社団法人全国消費者団体連絡会 事務局長
楯 美和子氏 一般社団法人日本経済団体連合会 消費者政策委員会 企画部会長
村井 正素 公益社団法人消費者関連専門家会議 理事長

(5) 応募件数 13件

3. 後援 消費者庁、一般社団法人日本経済団体連合会

*詳細は当会ホームページをご参照ください。

URL: <https://www.acap.or.jp/activity/consumer-oriented-management/acapsho/result/>

◆本件に関するお問い合わせ先

公益社団法人消費者関連専門家会議 (ACAP)
事務局長 喜山洋子 TEL : 03-3353-4999 メールアドレス : acap@acap.jp

以上

◆参考

公益社団法人 消費者関連専門家会議(ACAP)

企業や団体の消費者関連部門の責任者・担当者で構成する組織として、1980年(昭和55年)の設立以来、企業の消費者志向経営の推進、消費者対応力の向上、消費者、行政、企業相互の信頼の構築に向けて、各種研修、調査、消費者啓発活動、交流活動等を行っています。

英文表記の the Association of Consumer Affairs Professionals の頭文字をとり、ACAP(エイキャップ)の名前で親しまれています。

会員数	正会員数652名(510社)。全会員数783名(2023年1月18日現在)
理事長	村井 正素(むらい まさし) 住友生命保険相互会社
特別顧問	高 巖(たか いわお) 明治大学経営学部 特任教授
所在地等	【事務局】 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-14-12 玉屋ビル 5F TEL 03-3353-4999 FAX 03-3353-5049 https://www.acap.or.jp 【大阪事務所】 〒540-0028 大阪市中央区常盤町 2-1-8 FGビル大阪 7F TEL 06-6943-4999 FAX 06-6943-4900